

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)										
ET45H006	知的障害教育演習(Seminar on Education for Persons with Mental Retardation)					特別支援教育										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	1	大学院教育学研究科	後期		氏名 田中新正・古賀精治 E-mail skoga@oita-u.ac.jp 内線 7521										
授業の概要	知的障害のある子ども達に関する最近の実験研究・調査研究・実践論文を熟読して、特別支援教育のあり方について討論し理解を深める。															
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	知的障害のある子どもに関する専門的な研究・実践論文を読み取れるようになる。															
目標2	知的障害に関する新しい知識について述べるができる。															
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容	1 知的障害児の自己理解と他者感情の識別															
	2 知的障害児のコミュニケーション指導															
	3 知的障害児の知的機能のアセスメント															
	4 重度知的障害児の定位・探索行動の発達															
	5 重度知的障害児の要求伝達行動の形成															
	6 知的障害児の行動調整機能の発達															
	7 知的障害児の問題行動の機能的アセスメント															
	8 知的障害児の問題行動の改善															
	9 知的障害児の教概念の発達															
	10 知的障害児の数刺激等価関係の発達の特徵															
	11 知的障害児の性教育															
	12 知的障害児の就学指導															
	13 知的障害児のキャリア教育															
	14 特別支援教育推進のための校内支援体制															
	15 特別支援教育コーディネーターの役割と課題															
ラ ア ク ニ テ ン イ グ ラ フ	A:知識の定着・確認	発表およびディスカッションを中心に行う。				工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	授業内容に関わる論文等を精読しておくこと(15h)。														
	事後学修	授業で扱った内容や関連する課題について論文、書籍、インターネット等により「調べ学習」に取り組むこと(15h)。														
教科書	特に使用しない。適宜、必要に応じてプリントを配布する。															
参考書	参考書については、できるだけ新しいものをその都度紹介する。															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	討論への参加状況等の平常点	50%														
	学期末レポート	50%														
注意事項	なし。															
備考	なし。															
リンク																
	URL															